

平成 20 年度環境監視結果年報の概要

1 結果取りまとめの対象期間

平成 20 年 4 月から平成 21 年 3 月まで

2 環境監視の項目

(1) 空港島等の存在に係る項目

鳥類（カモメ類等水鳥・カワウ）

(2) 空港の供用に係る項目

一般環境大気質、騒音及び鳥類（タカ類等渡り鳥）

3 評価の内容（総合評価）

(1) 空港島等の存在に係る環境監視結果

ア 過年度データとの比較

鳥類（カモメ類等水鳥・カワウ）について、過年度データとの比較をした結果、環境監視結果では、空港島等の存在による大きな変化はみられなかった。

(2) 空港の供用に係る環境監視結果

ア 環境基準値等との比較

一般環境大気質については環境基準値や指針値と、航空機騒音については環境基準値と比較した結果、環境監視結果は、次の場合を除いて環境基準値または指針値以下であった。

- ・常時監視局である苅屋局並びに定期監視を行っている美浜町上野間において、光化学オキシダント（Ox）が環境基準値を上回っていた。この監視結果を愛知県が実施した周辺の一般環境大気測定局における測定結果と比較した結果、ほぼ同様の傾向であった。

イ 過年度データとの比較

空港の供用に係る全ての項目について、過年度データとの比較をした結果、環境監視結果は、ほとんど変化がなかった。

(3) まとめ

平成 20 年度の環境監視結果では、空港島等の存在及び空港の供用に伴う環境への影響はほとんど認められなかった。

(参考) 補足調査結果（水質、底質及び汀線調査）

平成 20 年度の調査結果は、過年度データと比べて、水質及び底質については概ね過去の変動の範囲内にあり、汀線については概ね安定しており大きな変化はみられなかった。

空港島及び対岸部の環境監視に関する検討委員会構成員

	氏 名	役 職 等
委員長	<small>いわた こういちろう</small> 岩田 好一朗	中部大学工学部都市建設工学科教授
委員	<small>おがさわら あきお</small> 小笠原 昭夫	名古屋学芸大学非常勤講師
委員	<small>きただ としひろ</small> 北田 敏廣	豊橋技術科学大学エコロジー工学系教授
委員	<small>くどう せいとく</small> 工藤 盛徳	東海大学名誉教授
委員	<small>す ど つとむ</small> 数土 勉	国土交通省国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部長
委員	<small>よしひさ こういち</small> 吉久 光一	名城大学理工学部建築学科教授